

輸血・細胞移植部

1. 診療科の特色

輸血治療においては輸血製剤の適正な選択を指導し、効率的な輸血医療の推進をしています。臨床検査医学と一緒に医学部、保健医療学部、研修医に対して実習を行い、基本的な血液型検査・不規則抗体検査・交差適合試験を修得できるよう教育しています。また、自己血採血業務も行っており、主に整形外科や産科の患者を対象にして手術前自己血貯血を行っています。特に整形外科の自己血からは、クリオを製造し、手術中に自己フィブリン糊として局所の止血に役立てています。

近隣地域からの紹介患者さんが多いため、稀な血型や血液の選択に迷うような不規則抗体陽性症例や自己抗体陽性症例に対する輸血治療も経験することができます。また、輸血に特に注意を払う必要がある稀な血液疾患も経験できます。

基礎研究として造血幹細胞の分離・培養・増幅研究、フローサイトメトリーを用いた細胞抗原解析、輸血医療の脅威となる新興・再興感染症の研究、病原体不活化技術の研究などを行っています。

2. 診療・教育スタッフ

岡田 義昭（准教授）、池淵 研二（教授）、小林清子（助教）

3. 研修責任者と指導者

研修責任者：岡田 義昭

指導者：岡田 義昭、池淵 研二、小林清子

4. 研修目標と到達目標

A. 一般目標 (GIO)

輸血療法に必要な知識を習得する。

輸血検査に必要な基本的な手技を取得する。

自己血採血に必要な知識と手技を取得する。

B. 行動目標 (SB0s)

血液型、不規則抗体検査、交差適合試験ができ、その結果を元に血液製剤の選択ができる。

血液製剤の選択や輸血副作用に対して診療からの要請に対応できる。

自己血採血ができる。

C. 研修方略 (LS)

輸血検査室で実際の輸血検査と輸血副作用に関する研修する。

中央治療センターで自己血採取を研修する。

D. 到達目標と評価方法 (EV)

	自己評価	指導者評価
輸血検査ができる	()	()
輸血の適応が判断できる	()	()
輸血副作用が判断できる	()	()
自己血輸血の適応が判断できる	()	()
自己血採血が安全にできる	()	()

E. 週間スケジュール

研修期間内で達成できるテーマを定めて研修スケジュールを個別に設定する。また臨床検査医学とジョイントで出血・凝固関連の研修も可能です。

研修に関する問い合わせ先

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 埼玉医科大学病院 輸血・細胞移植部 岡田 義昭（部長）

TEL：049-276-1175 E-mail：okada_44@saitama-med.ac.jp